

小児看護方法Ⅱ 1単位（30時間）

- 科目目標： 1. 健康障害が小児と家族に及ぼす影響と反応を理解する。
 2. 健康障害がある小児の看護を理解する。
 3. 検査・処置を受ける小児の看護を理解する。

講師：①大川原薫 ②高橋雄司 ③熊沢智佳

評価方法：筆記試験により評価する

テキスト：①系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学1、医学書院
 ②系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看護学2、医学書院

単 元	教 育 内 容	時 間	授 業 形 態	備 考
疾病・障害をもつ小児と家族の看護 小児における疾病の経過と看護	1. 疾病・障害が家族に与える影響 2. 小児の健康問題と看護 1) 小児の治療・健康管理にかかわる看護 2) 小児の日常生活にかかわる看護 3) 健康障害をもつ小児の家族の看護 3. 外来における小児と家族の看護 1) 外来の特徴と看護の役割 2) 外来の環境 3) 外来を受診する子どもと家族の特徴 4) 外来における子どもと家族の看護 4. 小児の入院と小児・家族への影響 1) 入院環境と家族の役割 2) 入院中の子どもと家族の特徴 3) 入院中の子どもと家族の看護 1. 慢性期にある小児と家族の看護 1) 慢性期の特徴 2) 小児と家族の看護 2. 急性期にある小児と家族の看護 1) 急性期の特徴 2) 小児と家族の看護 3. 周手術期の小児と家族の看護 1) 周手術期の特徴 2) 小児と家族の看護 4. 終末期の小児と家族の看護 1) 終末期の特徴 2) 生命・死についての小児のとらえかた 3) 小児を亡くした家族の看護 5. 隔離中の小児と家族の看護 6. 活動制限のある小児と家族の看護	1 4	講義	講師①8H 講師②6H 配点50% テキスト①

単 元	教 育 内 容	時 間	授 業 形 態	備 考
症状を呈する 小児の看護	1. 機嫌・啼泣 2. 痛み 3. 呼吸困難・鼻閉 4. チアノーゼ 5. 発熱 6. 消化器症状（嘔吐 下痢） 7. 水分・電解質異常（脱水） 8. 痙攣 9. 発疹	1 6	講義	講師③ 配点50% テキスト ①②
検査・処置を 受ける小児の 看護	1. バイタルサインの測定 2. 身体計測 3. 与薬 4. 輸液管理 5. 抑制・固定 6. 検体採取 7. 呼吸状態の緩和（酸素療法・吸入）		演習	小児看護 演習で演 習を行う 。
健康を障害さ れた小児の看 護	1. 代謝性疾患と看護 1) 糖尿病の小児の看護 2. 内分泌疾患と看護 1) 下垂体疾患の小児の看護 3. 免疫・アレルギー、膠原病と看護 1) 気管支喘息の小児の看護 2) アトピー性皮膚炎の小児の看護 4. 感染症と看護 1) 感染に関する基礎知識 2) 麻疹・水痘・風疹・流行性耳下腺炎・百日咳の 小児の看護 5. 呼吸器疾患と看護 1) 肺炎小児の看護 6. 循環器疾患と看護 1) ファローの四徴症・川崎病の小児の看護 7. 消化器疾患と看護 1) 口唇・口蓋裂の小児の看護 2) 腸重積小児の看護		講義	小児看護 方法Ⅰと 関連づけ る

単 元	教 育 内 容	時 間	授 業 形 態	備 考
	<p>8. 血液・造血器疾患と看護</p> <p>1) 血友病の小児の看護</p> <p>9. 悪性新生物と看護</p> <p>1) 白血病の小児の看護</p> <p>10. 腎・泌尿器疾患と看護</p> <p>1) ネフローゼ症候群の看護</p> <p>11. 運動器疾患と看護（活動制限のある小児の看護）</p> <p>1) 先天性股関節脱臼の小児の看護</p> <p>2) 脊柱側弯症の小児の看護</p> <p>3) 骨折した小児の看護</p>			